

国産広葉樹の利活用の現状と新たな取り組み

国内の広葉樹資源は、全森林蓄積の約3割を占めるなど充実期を迎えています。供給コストや流通体制の面で課題も多く伐採・利用が低調となっています。一方、近年、外国産広葉樹の価格高騰などを背景に国産広葉樹の利活用が注目されてきており、今後、家具用材などのより付加価値の高い用途が開拓され、国産広葉樹の利活用が進むことが期待されます。

そこで、4～7月の月例研究会では、「国産広葉樹の利活用」をテーマとして取り上げることといたしました。まず、4月は、森林総合研究所の青井秀樹氏より、国産広葉樹の利用流通の現状と展望について総括的にお話しいただきます。続いて、5月は、オークヴィレッジ(株)の稲本正氏をお迎えし、オークヴィレッジ(株)における40年にわたる国産広葉樹利活用の取り組みについて実体験に基づくお話を伺います。最後に、7月は、京都大学の村田功二氏より、近年新たな資源として注目を集めているセンダンをはじめとした早生広葉樹の育成・利用の取り組みについてご紹介いただきます。

地域資源である国産広葉樹利活用の現状と展望をふまえ、今後のさらなる木材利用拡大について皆様とディスカッションしたいと考えております。

4月	第66回	Ⅰ	日時：平成29年4月13日(木) 17:30～(受付開始 17:00)
			場所：東京大学農学部 フードサイエンス棟、中島ホール
			国産広葉樹の利用流通の現状と展望(仮)
			青井 秀樹氏(森林総合研究所 林業経営・政策研究領域 チーム長)
5月	第67回	Ⅱ	日時：平成29年5月11日(木) 17:30～(受付開始 17:00)
			場所：東京大学農学部 フードサイエンス棟、中島ホール
			地域発全国に向けた国産広葉樹利用の取り組み(仮)
			稲本 正氏(オークヴィレッジ株式会社社長、正プラス株式会社代表取締役)
6月			6月8日に合板博物館(新木場)にて、WBC under30を予定しています。
7月	第68回	Ⅲ	日時：平成29年7月13日(木) 17:30～(受付開始 17:00)
			場所：東京大学農学部 フードサイエンス棟、中島ホール
			新たな広葉樹資源としての早生広葉樹育成・利用の取り組み(仮)
			村田 功二氏(京都大学大学院農学研究科 講師)

(タイトルなどは予定ですので最新案内をご確認ください)

- 主催： 木材利用システム研究会
- 定員： 80名(定員になり次第、締め切らせて戴きます)
- 会場： 東京大学農学部 フードサイエンス棟 中島ホール
場所の詳細は下記ホームページにてご確認ください。
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_07_14_j.html
- 参加費： 本会会員および共催団体会員は無料、非会員は3,000円
情報交換会は実費(3,000円)を戴きます。会場準備の都合上、申込期限日以降のキャンセルはご容赦戴けますよう、ご協力の程よろしくお願い致します。
- 申込期限： 4月 平成29年4月6日(木)
5月 平成29年4月27日(木) ※申込開始3月下旬予定
7月 平成29年7月6日(木) ※申込開始5月中旬予定
- 申込方法： ホームページ(<http://www.woodforum.jp>)からお申し込みください。
お問い合わせはメールにてお願いいたします。

木材利用システム研究会事務局
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1
7号館B棟 439室
電話：03-5841-2783
FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.jp